

平成 25 年度第 8 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 25 年 9 月 7 日（土） 午前：9 時 30 分～12 時 30 分
午後：14 時～16 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 25 年度青森市子ども委員 18 名（欠席者 12 名）
平成 25 年度青森市子どもサポーター3 名
事務局 4 名
- 4 活動内容 午前：「子どもの権利条例」の普及啓発活動、身の回りの興味のあることをテーマとした活動
午後：外国人の方との交流会（「Team Commu²」メンバーのみ）

5 開催概要

第 8 回の活動は、午前中は前後半に分け、「子どもの権利条例」の普及啓発活動と、夏休み期間中に子どもたちが活動した、身の回りの興味のあることをテーマとした活動についての話し合いを行い、午後は交流グループ「Team Commu²」が企画した外国人の方との交流会を開催しました。

まず、「子どもの権利条例」の普及啓発活動についての話し合いですが、昨年 12 月に制定した青森市子どもの権利条例の中で、「市は、毎年 11 月 20 日を『青森市子どもの権利の日』とし、この日にふさわしい活動を行うものとします。」と定めています。

この「ふさわしい活動」について、市では現在、子どもの権利にちなんだイベントを開催したいと考えています。今回、子どもたちには、そのイベントで何をやりたいかについて考えてもらいました。

まず、事務局から、

- ・イベントの時間は 3 時間を考えていること
- ・イベントのプログラムについては、現時点ですべて未定になっていること
- ・ただし、夏休み期間中に活動してもらった興味テーマの活動内容や提案などを発表する時間を 1 時間は確保したいこと

などを伝えただけで、残りの 2 時間という限られた時間で何をすべきかを考えてもらいました。

子どもたちには、子どもの権利にちなんだイベントを開催するにあたり、事前に何をやりたいかについて聞いていました。



事前に聞いた案

- ・子どもの権利についての討論会、意見交換会
- ・〇×形式のクイズ大会
- ・子どもの権利に関する講演会（有名人による講演など）
- ・子どもの権利に関する演劇
- ・子どもの権利に関するワークショップ

これらを参考に、グループごとに分かれて、子どもたちは話し合いをし、その結果、次のような意見を出してくれました。

新たに出してもらった案

- ・〇×形式のクイズ大会で、権利について知ってもらい、そのクイズの問題を絡めたテーマでワークショップや討論会をする
- ・子どもの権利についての漫才
- ・討論会風の劇
- ・子どもの権利に関する寸劇をしたあとで、子どもと大人の意見交換をする
- ・先生と生徒による討論会
- ・子どもの権利に関するクイズやゲーム
- ・演劇を交えたワークショップ
（演劇でテーマを示し、それに対する意見交換をする。意見交換にあたっては、一般の人や学校の先生にも参加してもらう。）



以上の意見からは『劇』というキーワードが目立ちます。また、ただ劇をするだけでなく、「討論会」であったり「ワークショップ」であったり「意見交換」であったり、何かしらを交えながらの『劇』というのが見えてきます。

その点を子どもたち全員に確認してもらいながら、ひとまずプログラムの項目に『劇』を入れ込むことで合意にいたりしました。

なお、この『劇』で何をやるのか、『劇』と交えて何をやるのかなどの具体内容については、今後の新たな検討課題となります。

続いて、イベントに向けた役割分担についての話し合いを行いました。

イベントに向けた活動にあたっては、

- ・イベントプログラムの具体内容の検討や司会進行、シナリオ作成などを行う「**企画運営**」
- ・子どもの権利を普及啓発していくためのポスターや新聞などを作る「**作品作成**」

の大きく2つの役割が考えられることを子どもたちに事前に伝えていました。

そして、子どもたち全員に、どちらの役割をやりたいかの希望を聞いていて、ここからは、「企画運営」と「作品作成」の2つのグループに分かれて話し合いをしてもらいました。

まず、「企画運営」の話し合いからです。

「企画運営」としては、さきほど挙げたプログラムの具体内容の検討や司会進行、シナリオ作成のほか、イベント会場のレイアウトの検討、そしてイベント開催をどのような方法で周知していくかなど、考えなければいけないことが山のようにあります。

これらを踏まえ、まず今回は、「企画運営」としてやっていくべき役割を出し合いました。

その結果、今回第8回会議の時点では、

- ・司会者
- ・タイムキーパー
- ・音楽担当
- ・裏方
- ・シナリオ作成
- ・記録係
- ・発表者
- ・さきほど決まった『劇』について

などの役割が必要というまとめになりました。

なお、そのほかの役割や誰が何をやるのか、また、それぞれの役割の細かい内容などについては、次回以降の活動で話し合って決めることにしました。



次に「作品作成」の話し合いです。

今年度の第3回子ども会議（7月20日開催）のとき、子どもたちから、子どもの権利を普及啓発するために、どのような活動をしたかという意見の1つに、子ども委員が発行する新聞やポスターを作って、市内の小中学校や市営バスの広告スペースなどに掲示する、というのがありました。

「子どもの権利」というちょっと堅苦しいイメージを帯びていて、なかなかスムーズに広がっていかないテーマではありますが、子どもたちは、そういった“モノ”を作りたいという気持ちを持っているようです。



子どもたちには、自分がどの形態で、どんな内容の“モノ”を作りたいのか、次回までに考えてきてもらうことにしました。

これに加えて、子どもたちには、今回のイベント開催をお知らせするチラシやポスターなどのデザインも考えてほしいことを伝え、次回までにイメージを考えてきてもらうことにしました。

続いて、身の回りの興味のあることをテーマとした活動として、夏休み期間中に活動した内容をまとめ、イベントに向けた発表準備も兼ねた活動をしました。

思いやりグループ『Team 希望ガールズ』

夏休みに保育園を訪れて、本の読み聞かせやクイズ、ゲームなどを通じて、園児と大いにふれあったガールズたちでしたが、なんと今回は、4人中3人が部活などの都合で欠席せざるを得ない状況で、出席できたのがわずか1人でした。。(サポーターはいました。)

そこで、事務局から1人、ちょっと助っ人氣味に入って、お手伝いをさせていただきました。

というわけで、今回は、夏休みの活動内容を表現するための「模造紙づくり」を一生懸命頑張りました！



街グループ『マーチハンターズ』

新町シャッター商店街と体育施設に焦点を絞り、現場に足を運び、現状調査などを踏まえ、自分たちなりのビジョンを提案することにしたハンターズでは、資料型にまとめた内容を再度確認しながら、まとめの話し合いをしていました。



環境グループ『チーム LOL』

実際にゴミ拾いを経験したうえで、ゴミ分別による資源確保とゴミを減らす訴えかけをしようとして活動してきたチーム LOL では、夏休み期間中の活動記録をまとめた模造紙づくりを中心に行いました。

チーム LOL は、今回の活動でまとめのほうも大体終えたようで、あとは、イベントのときに誰が活動内容を発表するのか、自分たちで作ったゴミに関するクイズをどのように活用するのかなどについても話し合っていました。



交流グループ『Team Commu²』

Team Commu²は、この日の午後に自分たちで企画した外国人の方との交流会を控えていたこともあり、終始、交流会に向けた準備をしていました。

今回の交流会には、5名の外国人の方に参加していただけることになり、子どもたちから既に交流会への招待状を手渡ししてもらっていました。

どのような交流会になるのか、不安と期待が入り混じる中、子どもたちは交流会の流れなどを再度確認し合い、午前中の活動を終わりました。



4つのグループには、活動中にちょっとおじゃまして、

- ・ どうしてこのテーマで活動することにしたのか
- ・ 実際に活動してきた内容について
- ・ その活動を通して、誰に対して、どのような提案をするのか

などを明確にしておいて、イベントのときに発表しようということを伝えました。

この興味テーマについては、第8回会議時点では、環境グループ「チーム LOL」を除く3グループがまだ活動のまとめが終わっていない状況であるため、今後の子どもたちの日程を調整しながら、引き続きまとめ活動をしていきたいと考えています。

ここで午前の活動は終了となり、交流グループ「Team Commu²」以外のグループは解散となりました。

午後の交流会に向け、昼食を済ませた「Team Commu²」の子どもたちは、交流会の準備を始めました。

そうしているうちに、1人、また1人と今回の交流会に参加する外国人の方がいらっしゃいました。

子どもたちは、いらっしゃった外国人の方にあいさつしたあと、まずは自己紹介するための名札を作ってほしいことを、日本語と英語を交えながらお願いしていました。

自分たちで外国人の方と交流会をしたい、と企画をしたものの、やはり初めのうちは緊張してしまい、なかなか話すことができずにいました。

しかし、そこは子どもたち、徐々に緊張がほぐれてきて、気がつけば笑い声がたくさん聞こえてきて、時折英語も使いながら積極的に会話を楽しんでいました。



さて、今回の交流会は次のような流れで行われました。

- ・自己紹介
- ・アイスブレイク（ぬり絵とゲーム）
- ・「青森市について」のプレゼン（ねぶたについて）
- ・質問コーナー（文化の違いを知るため）

まず、参加者全員が右の写真のように順不同に座り、1人ずつ自己紹介を始めました。

子どもたちは基本的に英語で自己紹介をし、外国人の方は英語と日本語を交えながらの自己紹介でした。

さすがこういった交流会を企画しただけあって、英語を話せるし、英語をきちんと聞いて理解できている、自己紹介を聞いているみんなが「Oh〜！」と反応しているのがとても印象的でした。

自己紹介を通じて、場の雰囲気はかなり和やかになりましたが、さらに交流会を盛り上げるため、続いては子どもたちが考えたアイスブレイクを行いました。

これまた子どもたちが用意した MUSIC ♪にのりながら、参加者は「ぬり絵コーナー」に移動しました。



アイスブレイクの1つ目はぬり絵です。
「Team Commu²」メンバーの1人が作ったぬり絵の下書きに、クレヨンやラクーピーやらで思い思いに色を塗っていました。
当然、ただ色塗りしているだけでなく、ちょっとお菓子を食べて、ジュースを飲みながら、そしておしゃべりしながらの、ほのぼののムードでぬり絵を楽しんでいました。

なお、このぬり絵の主旨は、色の使い方も決して万国共通ではないだろうということから、その色使いをみんなで楽しみながら、その違いを見てみよう、というものでした。

できあがったぬり絵を拝見させていただくと、外国人の方のぬり絵では、人の目が黒目ではなく“青目”や“緑目”だったのが印象的でした。



次のアイスブレイクでは、参加者全員が話をしないで、ジェスチャーのみで確認しながら誕生日順に並ぶ、というゲームをしました。
実はこのゲームは、今年度の第1回子ども会議で学習会の講師をしていただいた小林央美先生が取り入れたアイスブレイクだったのですが、それをこの交流会でやってみようということにしたようです。

このゲーム、やってるときは誰もしゃべらないので、すごく静かでした。

並び終わって、1月生まれの人から順番に誕生日を発表したところ、見事に誕生日順に並んでいて、ゲームは成功に終わりました。



ゲームで和んだところで、次は「青森市についてのプレゼン」のコーナーです。

今回、「Team Commu²」ではねぶたに焦点をしばってプレゼンを行いました。

1人はハネトに、1人は囃子の格好をして、ねぶた祭りの紹介と笛の演奏、そしてねぶたのすべてを1年を通じて体感することができる施設「文化観光交流施設ねぶたの家ワ・ラッセ」を紹介しました。



交流会が始まってからここまでで大体1時間15分ほどが経っていましたが、これは「Team Commu²」のタイムスケジュールどおりでした。

ここで少し休憩をとり、お菓子を食べジュースを飲みながら、最初のとくとは比べものにならないくらい、自然な雰囲気でのみんな会話を楽しんでいました。

子どもたちも、ここぞとばかりに英語での会話にチャレンジしていました。



しばらくして、参加者全員が席に座り、交流会最後の質問コーナーが始まりました。

このコーナーの質問内容も「Team Commu²」の子どもたちが考えたものです。

主旨としては、学校や日常生活におけるちょっとした話題をネタにして、外国人の方に答えてもらい、その文化の違いをチェックしようというものです。

まずは「学校の教科」についてです。

日本では、国語、数学、英語、理科、社会、体育などの教科があるけど、外国ではどんな教科があるのかを聞きました。

外国人の方の答え

- ・小学校のときは、大体日本と同じだけど、中学、高校のときは、自分で教科を選択することになっているので、例えば、中学校に入って音楽を習いたいと思ったら、音楽の授業をとる、みたいな感じです。ただ、数学とか英語とか必ず習わなくてはならない教科もあります。



次は「制服」についてです。

日本では中学、高校と制服を着るのが一般的ですが、外国ではどうなのかを聞きました。

外国人の方の答え

- ・教会附属の学校では、よく制服があるが、市立の学校には大体制服はありません。
- ・中学校までは制服があつて、(制服のルールが)結構厳しかったです。高校からはありませんでした。
- ・イギリスは、公立学校では高校2年までは制服がありました。私立の学校では制服はありません。
- ・ハワイでは、中学校のとき、学校の名前が書いているTシャツが制服でした。



次は「給食」についてです。

日本では、大体、小学校、中学校のときに給食があつて、高校からはお弁当になるが、外国ではどうなのかを聞きました。

外国人の方の答え

- ・アメリカの小学校では給食がありました。給食費を払うとキップをもらいます。そのキップを店員みたいな人に渡して、自分で食べたいものを食べます。中学校も給食はあるけど、誰も食べない。自分でお弁当を持って行っていました。あと学校の中に、マクドナルドとかKFC(ケンタッキー)があったので、買って食べていました。



- ・僕の行ってた学校でも、4年生から、一旦学校から出て、そのへんの中華料理屋さんに行ったりとかしてもよかったですね。でも、僕は日本のシステムのほうが好きです。給食は時々おいしくはないけれど、安くて便利で、朝寝坊してもお昼は食べれるから。
- ・日本の給食は教室で食べるけど、アメリカでは学校にあるカフェテリアとかピクニックベンチなどで食べています。
- ・僕の学校は古かったのだから、日本と同じように教室で食べていたけれど、ほとんどの学校には食堂があるし、できれば先生とは食べたくなかったよ。



次は「学校行事」についてです。

日本では運動会 (sports festival) や文化祭 (culture festival) があるが、外国ではどのような学校行事があるのかを聞きました。

外国人の方の答え

- ・体育館でダンスイベントがありました。
- ・オープンハウス (学校の一般公開) というイベントがあって、夜の時間、両親たちが学校の中を見学できる、というのがあります。そのときは、子どもたちの作品なども展示しています。
- ・壮行式がありました。チアリーダーも踊ったり、音楽もすごかったです。体育館でやるので、みんな適当に座っていました。



こんな感じで質問コーナーを進めてきたのですが、最後のほうは、質問というより、全員で自然に会話が続けました。

日本のアニメやゲーム、“オタク”やメイド喫茶のことなど、自分たちの体験談を織り交ぜながら、しばらく談笑が続きました。

名残惜しいのですが、あっという間に時間になってしまいました。

最後に、「Team Commu²」のメンバーから、まずは今回、交流会に参加していただいた外国人の方に感謝の言葉を伝え、本当に楽しかったこと、こういった交流の機会が増えればと思う、と感想を話して、今回の交流会は終了となりました。



交流会をやり終えた子どもたちは、少し疲れた表情を見せながらも、笑顔で記念写真におさまっていました。

そして、帰り間際も、少し残っていたお菓子を食べながら、外国人の方と会話を楽しんだあと、玄関までお見送りしていました。

今回の交流会にご参加いただいた国際交流員の Christopher Orr さん、Joshua Friedman さん、ALT の Kristin Armstrong さん、Ryan Lin さん、Tony Nelson さん、本当にありがとうございました。

また、この交流会にあたり、一緒に楽しみ、場を盛り上げていただいた児童福祉専門分科会の長内委員には、大変お世話になりました。ありがとうございました。